

# 児童発達支援・放課後等デイサービスあしあと 活動プログラム 【5領域 発達支援】



児童発達支援・放課後等デイサービスでは発達の5領域の内容に対応した支援を行っています。

- ① 健康・生活                                  ・ ・ ・ ・ ・      健康状態の把握、リハビリテーションの実施
- ② 言語・コミュニケーション                  ・ ・ ・ ・ ・      人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得
- ③ 人間関係・社会性                                  ・ ・ ・ ・ ・      他者との関わり形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団参加
- ④ 認知・行動    ・ ・ ・ ・ ・      認知の発達と行動の習得
- ⑤ 運動・感覚    ・ ・ ・ ・ ・      姿勢と運動、動作の向上、保有する感覚の統合的な活用

障がいをもつお子さんにとって「あそび」とは、五感に刺激を受けることで脳の発達を促し、「あそび」を通して様々な人たちと関わる中で、社会性を広げていく心身の成長に欠かすことのできないものです。あしあとでは、理学療法士（言語聴覚士、作業療法士）、保育士、看護師、児童指導員など多職種で連携し、専門性を活かした様々な視点からアプローチをすることで、子どもたちの気づきや発達を支援しています。

学校のある放課後と休業日の一日利用などで、子どもたちの状況や季節に合わせて活動プログラムを立案し実施しています。

個別療育活動プログラム（例）

① 生活・健康②言語・コミュニケーション③人間関係・社会性④認知・行動⑤運動・感覚

※「ねらい」の（ ）内は主に係る領域

あそび	ねらい	遊び方・配慮事項
絵本 (読み聞かせ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じる (①・④)</li> <li>・さまざまな言葉にふれる (②)</li> <li>・コミュニケーションを楽しむ (②・③)</li> <li>・視覚や感覚から刺激を受ける (④・⑤)</li> </ul>	<p>その時期の季節や行事を知る事ができるような絵本や、子どもの好きなものや興味のあるものから選ぶ。視覚的に捉えにくい子どもには感触を感じられる物や色のはっきりした絵本を選ぶ。また繰り返しの言葉やリズム感を楽しめるよう声に抑揚をつける。</p>
ふれあい遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンシップを通じて子どもが安心感を持つ (②・③)</li> <li>・コミュニケーションを通じて他人への親しみを持つ (②・③)</li> <li>・体の動かし方や動かす楽しさを知る (④・⑤)</li> </ul>	<p>手遊び歌やわらべうたで遊ぶときは、子どもと触れ合いながら、目線を合わせて繰り返しゆっくりと歌う。歌や動作が早いと子どもが混乱して楽しめず、飽きてしまうことがあるため、ゆっくりハッキリした動きを見せる。子どもの様子を見ながらスピードを調整する。スキンシップを取りながら、力加減に配慮し身体のさまざまな部分を動かす。</p>
パソコン メディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図をもって手を動かす (操作する) (④・⑤)</li> <li>・文字や数字などのふれる (②・④)</li> </ul>	<p>体を動かし自分で操作できるように姿勢を整える。自分の名前をローマ字やひらがなで打つ。タイピングの場所を覚える。日記や作文を作成する。コントローラーを使い指先を動かす。</p>
散歩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じる (①・④)</li> <li>・地域の人や環境に触れ合う (②・③)</li> <li>・五感を刺激する (④・⑤)</li> <li>・体力をつけたり太陽を浴びることで生活リズムを整える (①・⑤)</li> </ul>	<p>子どもが自然に目を向けられるような言葉がけや子どもの表情を見ながら様々な言葉がけを行う。また花や草など実際に触れられているものには触れて、感触や匂いなども感じられるように配慮する。子どもの年齢、体力、環境、交通ルート等を十分に考慮し、無理のない場所・行程にする。</p>
創作活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じる (①・④)</li> <li>・様々な感触に触れる (④・⑤)</li> <li>・手先を動かす (④・⑤)</li> <li>・何かを作る楽しさを感じる (③)</li> <li>・達成感を感じる (③)</li> <li>・自分の意思を伝える (②・③)</li> </ul>	<p>季節を感じられる物を作る。一つ一つの工程で本人の意思を確認し、一人では難しい所は少し介助しながら「できた」を感じられるような関わりをする。様々な感触の物を用意し好みを探る。描いたり貼ったりする作業の時は手元が見えるよう斜面台などを使用する。</p>
数字・風船タッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚や感覚から刺激を受ける (④・⑤)</li> </ul>	<p>風船を膨らます。風船を落とさないようにトスしながら数字を順番にタッチする。</p>

集団療育活動プログラム

① 生活・健康②言語・コミュニケーション③人間関係・社会性④認知・行動⑤運動・感覚

※「ねらい」の（ ）内は主に係る領域

あそび	ねらい	遊び方・配慮事項
ボーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす (①・④・⑤)</li> <li>・ピンの倒れた音や様子を見て楽しむ (④・⑤)</li> <li>・友達を応援する (②・③)</li> <li>・ゲームのいよって生じる嬉しさや悔しさなどの気持ちを感じたり表現する (②・③)</li> <li>・数字に触れる (④)</li> </ul>	<p>倒した本数を競う。人数や子どもたちの様子によって個人戦かチーム対抗戦かを定める。子どもたちの自発的な動きを待ったり手を動かしやすい位置などを工夫する。食べ物や季節を感じられる物をピンに貼り、〇〇狩り、〇〇倒しなどの遊び方もできる。数を数えられる子がいる時には一緒に倒れたピンの数を数える。</p>
玉入れゲーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投げる事の楽しさや、狙ったカゴに入っ 時の喜びを感じ、体を動かすことの楽しさ や満足感を味わう (①・③・④・⑤)</li> <li>・友達との関わりを楽しむ (③・④)</li> <li>・賑やかな雰囲気を感じる (③・④)</li> </ul>	<p>人数や子どもたちの様子によって個人戦かチーム対抗戦かを定める。タイムレースで多く入れた方の勝ち。投げるのが難しい子は道具を使う。待っている子はストップウォッチ係などの役割を持って参加できるようにする。数を数えられる子がいる時には一緒に倒れたピンの数を数える。</p>
プレイバルーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手を伸ばしたり掴んだり体を動か(④・⑤)</li> <li>・音楽に合わせて揺れ動くバルーンを見たり風を感じ、様々な感覚の刺激を受ける (④・⑤)</li> <li>・お友だちと協力して動かす楽しさを味わう (②・③・④・⑤)</li> </ul>	<p>円になり、季節の歌に合わせて揺らし風や色を楽しむ。その他にも「3, 2, 1」のタイミングで子ども1人にバルーンをかけ、本人の名前を呼び動きを待ったり、お友達に引っ張って助けてもらうなどやり取りを楽しめるようにする。また、プレイバルーンの上に風船や手作り魚などをおき、みんなで揺らして動きを楽しむ</p>
おやつ調理活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な感触や匂いを感じる(④・⑤)</li> <li>・食に興味を持つ(①・④・⑤)</li> <li>・作って食べる達成感を味わう (②・③・④・⑤)</li> <li>・お友達と一緒に作る楽しさを感じる (②・③)</li> </ul>	<p>季節を感じられるものや子どもたちが食べやすい形態の物を作る。香りや感触を感じられるよう一つ一つの工程を子どもたちの反応を見ながら丁寧に関わる。アレルギーなどに注意し事前に保護者へお知らせする</p>